

一 事業主側 記

時秀合ニアリテハ就労配達夫ニ對スル暴行事件後三名ヲ一組トシ配達セシメ他方章議團代表ニ對シテハ交渉ニ志セルニ要スル事項ハ一切察レサレ方針ナリ

二 章議團側

被糾者ハ其ノ後所在ヲ轉々シ日本出版新聞委員会ト密接シ非合法手段ニヨリ威嚇シ尚今一系統出版所従業員ニ對シ参加シ勸誘シ別添ノ如キ章議ニコース一師ヲ配布セル事實アリ

三 交渉状況

(1) 日本出版東京文部新聞委員會常務委員ハ本月十三日前十時頃電話ニテ主任ニ面會方要請セルニ會見ノ場所ニ付函着ノ意見ヲ異ニシ遂ニ接見セス

(2) 十四日後一時三十分頃前記委員會幹部林 要及武田徹ノ函

名ハ主任トシテ十嵐文次郎ニ面會シ

兼ニ提出セル嘆願事項ノ承認及章議費用二百円ヲ支給セラレ度ク迫リタルニ立十嵐ヨリ時事新報各出張所ハ全一ノ營業方針ナルヲ以テ要求ハ承認シ難ク且章議費用ノ如キハ初メ終業員(監督)ニ業行ヲ加ヘ逃走セルニ付金然支給スルコト不能ト答ヘタル為メ不日再訪スヘク述ハ引揚ケタリ

四 警察事務

(1) 本月十四日前十時頃小石川区大塚坂下町一七九先ニ於テ配達中高庄勇及中山榮一ノ函名ニ對シ章議團員三名ヲ襲撃セルニ函名ナリシタメ業行ヲ加ワラズ不能逃走セリ

(2) 今日後六時頃村下高田町三合水久保一三五先配達中ノ配達中高庄 勇ニ對シ章議團員ト認メラル、モノ三名ヲ襲撃セルニ高庄ニ合行セル海老原立十嵐ノ函名ヲ相接セル為メ逃走セリ